事務事業評価表

部 長 課 長 係 長 担当者

						令和:	5 年度	実施	事業							ļ
事美	業名			j	民生:	委員活	動支	援事	<u>業</u>		担	当課		社会福	扯課	Į
基本	目標	2	健やな	かでや	さしい	ハ健康・	福祉の	まち			担	当係		地域福	祉係	•
施策	項目	5	地域社	畐祉							計画	期間	令和5	年度 ~	수	3和7年度
主な	取組	1	安心の	の地域	づくし	J					事業	事業区分補助				
マケ	- 4 1 🗆	会計	款	項	目						大事	業				
予 昇	科目	1	3	1	1					民	生委員活動	カ支援事	工			
	と方針 .AN】	_	地域全体で支え合う「地域共生社会 」の実現に向け、市民や地域福祉団体などの多様な主体の参画による地域 福祉体制の強化を進めます。													
	模概要 LAN] 民生委員法に基づき厚生大臣より委嘱された民生委員・児童委員の活動を支援します。															
	象 .AN】	度生児童委員 意図 民生児童委員の知識向上と地域における福祉活動を推進する。]を推進す					
意図の ために こと【									視察研修 費の支援							
	事業費	[DO]		単位	年度		04年		05年度 (実績)		06年度 (予算)	07年 (予算		08年度 (予算)		09年度 (予算)
		庫支出			一円			0		0	0					
財源			出金		円			42		42 0	42					
源内		地方債 その他			円円			0		0	0					
訳		てのit -般財			-円		11	5, 928	•		15, 745					
事業費合計 千円 15,970							790	15, 743								

(1)が连川ある火秘ロ計画天旭計画の「数旭日保」の進抄に関する計	∃標」の進捗に関∙	「数値目標」)伊達市第3次総合計画実施計画の	(1)
----------------------------------	-----------	--------	------------------	-----

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
		実績値が	目標値	15, 700	15, 700	15, 700	15, 700	15, 700
 交付金等の交付	千円	目標値 以下 と なること	実績値	15, 700				
			達成率	100. 0%				_

(2)チェック項目による評価【CHECK】

L		
	評価視点	評価の結果
1	び ・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・ 事務事業の優先度については高いものであるか	高齢者等の見守りや支援が必要な人への支援先へつなぐ活動などを 行う民生児童委員活動は、市民ニーズ、社会的需要が高く、事務事 業の優先度も高い。
:	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	民生児童委員の活動を支援することで、活動しやすい環境を整え支援の充実が図られることから、市民満足度も社会貢献度も高い。
1	か・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	費用は、民生児童委員活動に対する謝礼や民生児童委員協議会への 補助等のため、削減は難しい。民生児童委員の負担増加により、規 模の縮小も見込めないと考える。
Г		

今後の 方向性	維持	事業全体を通して評 価できた点、課題や 改善点など	民生児童委員の負担増加により、なりて不足が大きな課題となっている。
------------	----	---------------------------------	-----------------------------------

事務事業評価表

部 長 課長 担当者 係 長

						令和5	年度第	実施:	事業						
	事業名			生》	舌团	国窮者自	立支	援事	業		担	当課		社会福祉	課
基	基本目標	2	健やか	でやさ	きし	い健康・	福祉のま	ち			担	当係		地域福祉	係
が	拖策項目	5	地域福	祉							計画	期間	令和5	年度 ~	令和7年度
É	主な取組	1	安心の)地域:	づく	Ŋ			事業区分 一部委託						
-	7 年 1 1 日	会計	款	項	目						大事	業			
7	予算科目	1	3	1	1						社会福祉	止諸費			
	的と方針 【PLAN】		或全体 体制の				失生社会	」の ⁱ	実現に向	け、市	民や地域ネ	福祉団	体などの多	様な主体の参	画による地域
	事業概要 【PLAN】	生	活困窮	者等の	自立	☑の促進を	と図るたる	め、相	目談支援等	等を実旅	します。				
対象 【PLAN】 生活基盤が劣などの要因が重なっ て、生活困窮に陥っている方 意図 【PLAN】 生活困窮と脱し、自立すること。															
t= &	図の実現の かに必要な と【PLAN】													記に応じた継絡 家賃補助を行	
	事業費	[DO]		単位	₽度		04年度		05年度 (実績))6年度 (予算)		(年度 (予算)	08年度 (予算)	09年度 (予算)
則		庫支出 府県支		千日			18,	935	9, 9	046	7, 805 0				
源内		地方債 その他		千日				0		0	0				
訴		-般財 業費合		千日			3, 22,	776 711	13, 2 23, 1		3, 166 10, 971				
(1)伊達市貿	第3次	総合計	画実施	計画	画の「数何	直目標」	の進	歩に関す	る評価	[DO]		<u> </u>		
	指標	名		単位	ī j	達成条件	区分	R	5年度	Re	6年度	R7	年度	R8年度	R9年度
					身	 €績値が	目標値		56		66		76	86	96
生活	話困窮者等の た相談		に向け	件		目標値 以上 と	実績値		42						
	/二代日政	(計数				以工 こ ぶること	達成率	-	75. 0%						
(2	2)チェック	ブ項目				ECK]			To the state of th				r lm - 4.1 =		
				評価視								評	呼価の結果		
要) 生活困窮 ¢の優先度			「増加しており	J、社会的需
有効性	効 付じさるか							は期)見直しや Éが期待で			家賃補助なる	どの支援によ
	・社会貢献度についてはどうか・費用を抑える工夫は行ったか・時間を削減する工夫は行ったか・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか								一部事業を伊達市社会福祉協議会へ委託することにより、相談者が 一体的に継続支援を受けられるようになった。						

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の 方向性

維持

改善点など

事業全体を通して評 全体的に相談件数は増加しているものの、家計改善のためのプラン作成まで至ら 価できた点、課題やないケースが多い。一体的な支援事業と捉え、相談体制の見直しを図る必要があ る。

事務事業評価表

部 長 課 長 係 長 担当者

					令和5年度	E実施 事業						
事業名				地	域福祉総務	事務		担当課		社会福	 祉課	
基本目標	2	健や	かでや	さし	ハ健康・福祉の	まち		担当係		地域福	 祉係	
施策項目	5	地域	福祉					計画期間	令和	5年度 ~	令和7年度	
主な取組	1	安心	の地域	づく	Ŋ			事業区分		補且	b	
予算科目	会計	款	項	目			大事業					
了异代日	1	3	1	1				地域福祉諸費	Ì			
目的と方針 地域全体で支え合う「地域共生社会 」の実現に向け、市民や地域福祉団体などの多様な主体の参画による地域 【PLAN】 福祉体制の強化を進めます。												
事業概要 【PLAN】	**************************************											
対象 【PLAN】	②保		養委員 ・戦	设者遺	族	意図 【PLAN】	とができ	権擁護委員や保護司の活動が充実し、必要な支援を行うこ ができる。 族会の活動が充実する。				
	付す	る。				るため、人権擁 するため、旧町					会へ交付金を交	
事業費丨	[DO]		単位	年度	04年 (実				7年度 予算)	08年度 (予算)	09年度 (予算)	

3	事業費【DO】		04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
	国庫支出金	千円	0	0	0			
財	都道府県支出金	千円	795	296	217			
源	地方債	千円	0	0	0			
内	その他	千円	0	0	0			
訳	一般財源	千円	2, 463	4, 715	2, 121			
	事業費合計	千円	3, 258	5, 011	2, 338			

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【DO】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
		実績値が	目標値	387	387	387	387	387
 負担金等の交付	千円	目標値 以上 と なること	実績値	387				
			達成率	100.0%				

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか・社会的需要についてどうか・事務事業の優先度については高いものであるか	人権擁護委員や保護司の活動は、市民に直結しており、市民二一 ズ、社会的需要及び事業の優先度も高い。 戦没者遺族の高齢化や死亡により市民ニーズや社会的需要はやや低 いが、継続支援の必要性から事業の優先度は高い。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	交付金の交付により、円滑な運営お及び活動の充実が図られ、市民 満足度も社会貢献度も高い。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	費用は、活動支援交付金のため削減は難しい。

今後の 方向性	改善	事業全体を通して評価できた点、課題や 改善点など	戦傷病者・戦没者遺族の高齢化が進み、遺族会の統合などの検討が必要と考える。
------------	----	-----------------------------	---------------------------------------

事務事業評価表 **今和5年度宝施**重業

部長 課長 係 長 担当者

					令和5	5年度	実施	事業						
事	業名			地均	或自治組	織推済	進事業	ŧ		担	当課		協働まちづ	くり課
基	本目標	2	健やか	でやさし	ンい健康・	福祉の	まち			担	当係		地域振興	!係
施	策項目	5	地域福	祉						計画	期間	令和5	6年度 ~	令和7年度
主	な取組	2	協働の	地域づく	()				事業区分直営					
买 .	算科目	会計	款	項目						大事	業			
Jr.	# 14 D	1	2	1 12	2					地域振興	事業費			
	ちと方針 PLAN】				う「地域‡ めます。	生 生社会	€ 」の	実現に向]け、†	万民や地域	福祉団体	などの多	様な主体の参	きゅう きゅう
	業概要 PLAN】		域の実情 援します		て主体的に	に住民同	士のま	をえ合い	活動を	実施する地	!域自治	組織に対し	ン、特定事業	交付金を交付
	対象 PLAN】	地域	自治組織	战				I図 _AN】		お組織が、				た困りごとを
ため	の実現の に必要な 【PLAN】		自治組絹 合う体制			常生活に	こおいて	て困って	いるこ	とを把握し	.、利用	したい人、	協力したい	人を募集して
	事業費	[DO]		年月 単位		04年		05年度 (実績)		06年度 (予算)	07年 (予:		08年度 (予算)	09年度 (予算)
財		車支出 府県支		千円 千円			0		0	0				
源内		地方侵	Ę	千円			0		0	0				
訳	_	般財業	源	千円			, 374 , 374	63, 63,		64, 498 64, 498				
(1)					†画の「数		<u> </u>			·				
	指標	名		単位	達成条件	区分	F	85年度	F	R6年度	R7年	F度	R8年度	R9年度
				地 域	実績値が	目標値	直	9		10	10	0	11	12
	支え合い? む地域自?			自治	目標値 以上 と	実績値	直	8						
		다 사고 마다		組織	なること	達成率	[]	88. 9%						
(2)	チェック	7項目		評価【C 評価視点							≘	西の結果		
ילו.	±0-	¬"ı-			T.			A.W	古私儿	以古松 业#			上举行!	
必 ・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・ 十生・事務事業の優先度については高いものであるか								のちょ	っとし	た困りごと	を支援	する必要は		齢者の日ごろ られることか 。
有 ・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか										ごとを支援 と考えてい		とで利用者	者の満足 度は	上がり、社会
率 •	効 ・費用を抑える工夫は行ったか 率 ・時間を削減する工夫は行ったか								地域自治組織への周知については、新年度の地域自治組織活動交付金の内示と合わせて行っており、周知に対する時間や費用など事務 負担の抑制につながっている。					

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の 方向性

維持

事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など 地域支え合い活動は、利用したい人と協力したい人とのマッチングが難しく、利用者が伸び悩んでいるという課題がある。また、実施するうえでの負担があることから取り組む自治組織が伸び悩んでいることも課題である。

事務事業評価表

部 長 課 長 係 長 担当者

						令和5	年度:	実施	事業						
事第	業名			ţ	地域	福祉活	動支援	爰事き	業		担	当課		社会福祉	課
基本	目標	2	健やか	いでや	さし	い健康・神	福祉のま	まち			担	当係		地域福祉	係
施策	項目	5	地域福	副祉							計画	期間	令和54	年度 ~	令和7年度
主な	取組	2	協働の)地域	づく	IJ					事業	事業区分 補助			
	· 1.4 🗖	会計	款	項	目						大事	業			
	科目	1	3	1	1					社会	·福祉団体	助成事業	費		
	と方針 地域全体で支え合う「地域共生社会 」の実現に向け、市民や地域福祉団体などの多様な主体の参画による地域福祉体制の強化を進めます。														
	概要 AN】	地域住民主体の団体が実践する地域福祉活動事業に対し、支援を行います。													
	象 .AN】		民 達市社 或福祉		业協調	義会					福祉活動へが図られる		や支援等に	こより、地域	コミュニティ
意図の ために こと【	必要な	福祉	活動に	参加	するで	市民の参加	者								
4	事業費【	[DO]		単位	年度		04年月		05年度 (実績)		06年度 (予算)	07年 (予算		08年度 (予算)	09年度 (予算)
	国	車支出	1金		<u>/</u> f円		(天祖	0	(天限)	0	(了异)	() 5	1 /	(] / 异/	()/ 异/
財		中文 行県支			F円			0		0	0				
源		地方侵			門			0		0	0				
内		その他			戶円			0		0	0				
訳		般財.			戶円			620		620	1, 620				
		業費合			F円	- Fat: 1		620	1, (1, 620				
(1)	伊達市第	第3次	総合計	画実	施計	画の「数値	直目標」	の進	捗に関す	る評価	[00]				
	指標	名		単	位	達成条件	区分	<u></u> F	R5年度	R	6年度	R7年	度	R8年度	R9年度

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
		実績値が	目標値	27	28	29	30	30
地域福祉団体等の数	体	目標値 以上 と	実績値	27				
		なること	達成率	100. 0%				

(2)チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか・社会的需要についてどうか・事務事業の優先度については高いものであるか	住民参加の地域福祉活動を支援するため、市民ニーズ、社会的需要が高い。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	住民主体の福祉活動を推進を目的として、地域において組織する福祉活動団体が行う活動経費の一部を助成するため、市民満足度及び 社会貢献度は高い。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	地域での福祉活動の充実を図るため、費用の削減は難しい。

今後の 方向性	維持		支援が必要な人を地域で支えあう体制を整え、誰もが住み慣れた地域で安心して 生活できる地域づくりを推進していくため、継続して事業を実施する必要があ る。
------------	----	--	---

事務事業評価表 令和5年度実施事業

部長 課長 係 長 担当者

					17110 千及天池手术						
事業名		社	会福	祉協	3議会支援事業(再掲)	担当課		社会福祉課			
基本目標	2	健や	かでや	さし	い健康・福祉のまち	担当係		地域福祉係			
施策項目	5	地域	福祉			計画期間	令和5	年度 ~	令和7年度		
主な取組	2	協働の	の地域	づく	L)	事業区分		補助			
予算科目	会計	款	項	目		大事業					
17 开行日	1	3	1	1	社会福祉団体助成事業費						

目的と方針 [PLAN]

地域全体で支え合う「地域共生社会 」の実現に向け、市民や地域福祉団体などの多様な主体の参画による地域 福祉体制の強化を進めます。

事業概要 [PLAN]

ボランティア活動を実施している団体等に対し、社会福祉協議会を通じて活動を支援します。

対象 意図 市民 市民が積極的に地域活動等に参加する。 [PLAN] [PLAN]

意図の実現の こと【PLAN】

意図の実現の ために必要な ために必要な アへの関心を高め活動へ繋ぐ支援を行う。

事業費【DO】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
	国庫支出金	千円	0	0	0			
財	都道府県支出金	千円	0	0	0			
源	地方債	千円	0	0	0			
内	その他	千円	0	0	0			
訳	一般財源	千円	38, 230	38, 230	38, 230			
	事業費合計	千円	38 230	38 230	38 230			

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【DO】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
		実績値が	目標値	35	35	35	35	35
ボランティア団体の数	団 体	目標値	実績値	37				
		以上 となること	達成率	100. 0%				

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか・社会的需要についてどうか・事務事業の優先度については高いものであるか	子ども食堂を運営するボランティア団体の増加など、市民ニーズ、 社会的需要及び事務事業優先度は高い。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	地域や学校における福祉共育の推進により、社会満足度及び社会貢献度は高く、事業効果も期待できる。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	地域福祉活動計画の目標である地域で支えあい安心して暮らしてい くまちづくりの推進を図るため、費用の削減は難しい。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の 方向性	維持
------------	----

事業全体を通して評 価できた点、課題や 改善点など

新規ボランティア団体が増加する一方で、会員の高齢化により活動を縮小してい る団体もあることから、ボランティア団体の実態把握やニーズ調査などを社会福 祉協議会と協議し進めていく必要があると考えられる。

事務事業評価表

係 長 部長 課長 担当者

				で和り干燥								
	避	誰行	動要:	支援者対策	事業(再掲)	担当課		社会福祉課			
2	健や	かでや	さしい	ハ健康・福祉の	まち		担当係		地域福祉係			
5	地域	福祉					計画期間	令和5	年度 ~	4	介和7年度	
2	協働の	の地域	づくり	·J			事業区分		直宫	ŕ		
会計	款	項	目		大事業	·						
1	3	1	1		社会福祉諸費							
	地域全体で支え合う「地域共生社会 」の実現に向け、市民や地域福祉団体などの多様な主体の参画による地域 福祉体制の強化を進めます。											
	災害時に円滑で迅速な避難誘導のため、関係機関と共有する避難行動要支援者名簿の充実と、個別避難計画の 作成を推進します。											
避難往	行動要	支援	者		意図 【PLAN】	認、避難	誘導など適切					
	5 2 会計 1 地址 福祉化 作成:	2 健や 5 地域 2 協働の 会計 款 1 3 地域全体 福祉体制の 災害時に 作成を推進	2 健やかでや 5 地域福祉 2 協働の地域 会計 款 項 1 3 1 地域全体で支え 福祉体制の強化・ 災害時に円滑 作成を推進しまっ	2 健やかでやさしし 5 地域福祉 2 協働の地域づくし 会計 款 項 目 1 1 3 1 地域全体で支え合う福祉体制の強化を進め	避難行動要支援者対策 2 健やかでやさしい健康・福祉の 5 地域福祉 2 協働の地域づくり 会計 款 項 目 1 3 1 1 地域全体で支え合う「地域共生社会福祉体制の強化を進めます。 災害時に円滑で迅速な避難誘導のが作成を推進します。	2 健やかでやさしい健康・福祉のまち 5 地域福祉 2 協働の地域づくり 会計 款 項 目 1 3 1 1 地域全体で支え合う「地域共生社会」の実現に応福祉体制の強化を進めます。 災害時に円滑で迅速な避難誘導のため、関係機関作成を推進します。 意図	避難行動要支援者対策事業 (再掲) 2 健やかでやさしい健康・福祉のまち 5 地域福祉 2 協働の地域づくり 会計 款 項 目 1 3 1 1 地域全体で支え合う「地域共生社会」の実現に向け、市民福祉体制の強化を進めます。 災害時に円滑で迅速な避難誘導のため、関係機関と共有する作成を推進します。 炭悪難行動要支援者 意図 大規模災認、避難	避難行動要支援者対策事業 (再掲) 担当課 2 健やかでやさしい健康・福祉のまち 担当係 5 地域福祉 計画期間 2 協働の地域づくり 事業区分 会計 款 項 目 大事業 1 3 1 1 社会福祉諸費 地域全体で支え合う「地域共生社会」の実現に向け、市民や地域福祉は福祉体制の強化を進めます。 災害時に円滑で迅速な避難誘導のため、関係機関と共有する避難行動要に作成を推進します。 ※群行動要支援者 意図 大規模災害時に要支援 以業難行動要支援者 意図 大規模災害時に要支援 以業難活動要支援者 意図 大規模災害時に要支援 以業難活動要支援者 「決選挙に動産支援者」 「大規模災害時に要支援者」 「対する」 「対する」 「対する」 「対する」 「対する」 「対する」 「対する」 「対する」 「対する」 「対する」 「対する」 「対する」 「対する」 「対する」 「対する」 「対する」 「対する」 「対する」 「対する」 「対する」 「対する」 「対する」 「対する」 「対する」 「対する」 「対する」 「対する」 「対する」 「対する」 「対する」 「対する」 「対する」 「対する」 「対する」 「対する」 「対する」 「対する」	選難行動要支援者対策事業 (再掲) 担当課 2 健やかでやさしい健康・福祉のまち 担当係 5 地域福祉 計画期間 令和5 2 協働の地域づくり 事業区分 会計 款 項 目 大事業 1 3 1 1 社会福祉諸費 地域全体で支え合う「地域共生社会」の実現に向け、市民や地域福祉団体などの多福祉体制の強化を進めます。 災害時に円滑で迅速な避難誘導のため、関係機関と共有する避難行動要支援者名簿の作成を推進します。 意図 大規模災害時に要支援者に対し、認、避難誘導など適切な支援を行	避難行動要支援者対策事業 (再掲) 担当課 社会福 地域福 地域福 計画期間 令和5年度 ~ 2 協働の地域づくり 事業区分 直営 会計 款 項 目 大事業 1 3 1 1 社会福祉諸費 社会福祉諸費 地域全体で支え合う「地域共生社会」の実現に向け、市民や地域福祉団体などの多様な主体の福祉体制の強化を進めます。 大規模災害時に円滑で迅速な避難誘導のため、関係機関と共有する避難行動要支援者名簿の充実と、作成を推進します。 大規模災害時に要支援者に対し、迅速な所在認、避難活導など適切な支援を行うことによ	避難行動要支援者対策事業 (再掲) 担当課 社会福祉部 2 健やかでやさしい健康・福祉のまち 担当係 地域福祉保 計画期間 令和5年度 ~ 名 2 協働の地域づくり 事業区分 直営 会計 款 項 目 大事業 1 3 1 1 社会福祉諸費 社会福祉諸費 地域全体で支え合う「地域共生社会」の実現に向け、市民や地域福祉団体などの多様な主体の参照福祉体制の強化を進めます。 災害時に円滑で迅速な避難誘導のため、関係機関と共有する避難行動要支援者名簿の充実と、個別作成を推進します。 炭害時に円滑で迅速な避難誘導のため、関係機関と共有する避難行動要支援者名簿の充実と、個別作成を推進します。	

意図の実現の こと【PLAN】

ために必要な 要支援者名簿への提供同意、個別避難計画の作成

事業費【DO】		年度 単位	04年度 (実績)	05年度 (実績)	06年度 (予算)	07年度 (予算)	08年度 (予算)	09年度 (予算)
	国庫支出:		0	0	0	(,,),	(3.51)	(3.51)
財	都道府県支	出金 千円	0	0	0			
源	地方債	千円	0	0	0			
内	その他	千円	0	0	0			
訳	一般財源	千円	1, 550	2, 391	2, 193			
	事業費合	計 千円	1, 550	2, 391	2, 193			

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【DO】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
	人	実績値が 目標値 以上 と なること	目標値	1, 800	2, 200	2, 500	2, 800	3, 000
個別避難計画作成者数			実績値	1, 894				
			達成率	100. 0%				

(2) チェック項目による評価【CHECK】

			評価の結果
1	要・	市民ニーズについてどうか 社会的需要についてどうか 事務事業の優先度については高いものであるか	災害時の迅速な安否確認や避難誘導等や平常における見守り等の活 用のため、市民ニーズ、社会的需要及び事業としての優先度は高 い。
3	対して	施策項目の目標達成に向けた事業効果については期 待できるか 市民満足度についてはどうか 社会貢献度についてはどうか	個別避難計画作成者数の増加により、災害時に迅速な安否確認や避 難誘導など適切な支援が期待できる。
3	率 •	費用を抑える工夫は行ったか 時間を削減する工夫は行ったか 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	避難行動要支援者個別避難計画書の様式を見直し、作成の負担軽減 を図り、作成率の向上に努めた。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の 方向性

維持

事業全体を通して評 改善点など

対象者への制度勧奨と合わせ、避難支援者となる世代へ制度の理解促進のため出 価できた点、課題や 前講座等による周知活動を行った。災害の危険地域など優先度が高い区域を重点 的に勧奨を行う。

事務事業評価表 令和5年度実施事業

部 長 課 長 係 長 担当者

事	業名	地域福祉計画推進事業						担	当課	社会福祉課						
基本		2	2 健やかでやさしい健康・福祉のまち						担	当係		地域福	祉係			
施策		5	5 地域福祉							計画	期間	令和5	年度 ~	令和7年度		
主な	よ取組	2	協働の)地域	づく	IJ				事業	事業区分 直営					
マ #	Φ14 D	会計	款	項	目		大事業									
了身	章科目	1	3	1	1		地域福祉諸費									
	と方針 LAN】	地域全体で支え合う「地域共生社会 」の実現に向け、市民や地域福祉団体などの多様な主体の参画による地域 福祉体制の強化を進めます。														
	業概要 'LAN]	第4期伊達市地域福祉計画の進行管理及び推進を図ります。														
	対象 市民 【PLAN】 地域福祉計画						意図 【PLAN】 誰もが住み慣れた地域で、自分らしく暮らすことができる。 地域の中で顔の見れる関係性を築き、お互いに支えあいなが ら安心して暮らすことができる。									
ために	意図の実現の ために必要な こと【PLAN】 地域福祉計画及び計画に掲げられている事業等が、G-PDCAサイクルに基づく効果検証等から適正に進行管理されており、地域福祉活動の最適化が図られている。							こ進行管理され								
	事業費【	[DO]		単位	年度		04年月			06年度 (予算)	07年月 (予算		08年度 (予算)	09年度 (予算)		
		庫支出金		Ŧ	f円		大帜	0	0	0	() X	.)	()* 并/	() 升)		
財源		府県支出金 地方債			千円 千円		0		0	0						
内		心力でその他			<u>「つ</u> f円			0	0	0						
訳		般財			f円 rm			90	90	90						
(1)	事業費合計 千円 90 90 90 90 1 90 1 90 1 1 1 1 1 1 1 1 1															
	指標		名		位 :	 達成条件	区分	R5年度	F	R6年度	R7年月	隻	R8年度	R9年度		
	地域福祉計画領				9	実績値が 目標値	目標値	1		1	1		1	1		
地域福					. E		実績値	0								
	開作	催				以上 となること	達成率	0.0%								
(0)	チェック	- TE D	ーレス	= 1 1 ==	F OUE	CK1						•		•		

(2)チェック項目による評価【CHECK】

l		評価視点	評価の結果
	必要性	・市民ニーズについてどうか・社会的需要についてどうか・事務事業の優先度については高いものであるか	社会福祉法第107条の規定に基づき市の地域福祉の理念や方向性を定める行政計画であり、計画に掲げる施策の行政評価システムによる評価を行い、的確な進行管理を図ることから、社会的需要及び事務事業の優先度は比較的高い。
	有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	地域福祉体制の強化を図るため、各施策の進行状況の確認は有効であると考えている。、
=	効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	各施策の進行状況の確認にかかる時間の削減の検討が必要と考えて いる。

今後の 方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や 改善点など	行政評価システムによる事業評価を行い、計画の的確な進行管理を図る。
------------	----	-----------------------------	-----------------------------------